

## 「実践的コミュニケーション能力」育成のための基礎・基本の定着を図る中学校英語科学習指導法の在り方

### 本調査研究の要約

学習指導要領の改訂に伴い、英語科学習指導においては、「実践的コミュニケーション能力」の育成が、喫緊の課題となっている。本調査研究は、中学校における英語科指導における、「実践的コミュニケーション能力」の育成を目指した、表現力を高めるための指導の工夫・改善にかかわる調査研究である。

### キーワード

「英語科指導」 「表現力」 「ペアワーク」 「書くことの指導」 「語い」

#### 1 主題設定の理由

中学校学習指導要領が改訂され、「外国語（英語）を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くことや話すことなどの『実践的コミュニケーション能力』の基礎を養う」ことが教科目標として掲げられた。この「実践的コミュニケーション能力」とは、「単に外国語の文法規則や語いなどについての知識をもっているというだけでなく、実際のコミュニケーションを目的として外国語を運用することができる能力」（中学校学習指導要領解説）である。この改訂により、「聞くこと」、「話すこと」の2つの技能が、更に重視されねばならないことは言うまでもないことである。しかし、外国語（英語）の文法規則や語いなどについての知識は、実際のコミュニケーションを目的として外国語（英語）を運用することができる能力の根幹をなすものであるということを忘れてはならない。

そこで、本センターが平成13年度に実施した中学校教育課程実施状況調査及び平成14年度県立高等学校入学者選抜学力検査の表現力を問う問題の結果分析をもとに、本県中学生の現状と課題を把握し、「実践的コミュニケーション能力」育成の効果的な在り方を構想し、更に研究協力学校における実態調査と授業実践を通して、その有効性について検証を進めていくことにした。

#### 2 研究仮説

二つの調査（検査）の結果分析をもとに、中学校における表現力にかかわる技能の習得状況とその特徴を多角的に把握し、その問題点や改善すべき点を明らかにし、効果的な指導の在り方を考察し、その実践を行えば、表現力の向上が図られ、ひいては「実践的コミュニケーション能力」の育成につながるであろう。

### 3 研究の実際

#### (1) 研究経過

月	研究内容	月	研究内容
4月	研究計画の作成	10月	検証授業のまとめ
5月	研究協力学校との打ち合わせ	11月	調査研究のまとめ
6月	実態調査の実施，結果分析	12月	"
7月	検証授業についての打ち合わせ	1月	研究紀要の作成
8月	検証授業の準備	2月	研究紀要の作成，まとめ
9月	検証授業の実施	3月	研究紀要のまとめ，反省

#### (2) 研究の内容

##### ア 実態把握のための調査の実施及び分析

##### (ア) 平成13年度中学校教育課程実施状況調査結果分析

この調査は，中学校第2学年を対象とし，平成14年2月1日に実施したものであり，表現力にかかわる部分の正答率は33.4%であった。以下に各問題と正答率を示す。

##### 語句整序問題

次の場面にふさわしい表現となるように，与えられた語（句）を並べかえる。

(1) 窓を開けることについて，相手の意向をたずねるとき。 ( open / window / I / shall / the ) ?	79.3 %
(2) 何か飲み物が欲しいことを，相手に伝えるとき。 ( something / want / drink / I / to ).	43.5 %
(3) 図書館までの道を教えてもらいたいとき。 ( the way / you / tell / the library / would / to / me ) ?	28.7 %
(4) 相手に宮崎に滞在する期間を質問するとき。 ( Miyazaki / you / will / in / long / stay / how ) ?	32.9 %

##### 英文（紹介文）作成

インタビュー項目をもとに新しいALTを紹介する英文を4つ作成する。

インタビュー項目	
・宮崎に来た日	Our New Teacher, Mr. Green
・宮崎に来た理由	He is from London.
・家族	_____
・好きなもの（こと）	_____
・趣味	_____
・日曜日の過ごし方	_____
・宮崎の印象	_____

この問題の誤答例を分析することにより、中学校第2学年段階での生徒の学習状況の実態を把握できると考える。の主な誤答としては、(2) I want to something drink. , (3) Would you tell the library the way to me. 等がみられた。また、については、He is play tennis. や He is came to Miyazaki last year.等が目立った。want の後には、名詞や不定詞の名詞的用法がくること、the way to the library が一つのまとまった句 (phrase) となること、be 動詞と一般動詞の違い (使い分け) といった、語い、語法、文法の基本的事項の定着が十分に成されていないことを示している。

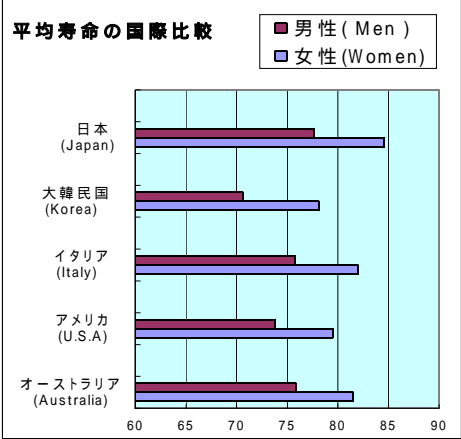
(1) 平成14年度入学者選抜学力検査結果分析

平成14年3月に実施された入学者選抜学力検査のうち、表現力を問う内容にかかわる各問題とその正答率を示す。

問1 次の対話文は、慎吾君とジェーンさんが、下のグラフを見ながら話をしているときのものです。二人の対話が自然に流れるように [ ] に、( ) 内の語を用いて英文を書きなさい。

Jane : Hi, Shingo. What are you looking at?  
Shingo : Hi. Look at this \*chart.  
[ ] ( notice ) ?  
Jane : Oh, Japanese women live longest. Why is that?  
Shingo : Well, I don't know. But if we think about the ways of life, we can get some ideas.  
Jane : I see. Oh, I just noticed another thing.  
Shingo : What's that?  
Jane : [ ] ( longer ) .  
Shingo : That's right.

(注) chart グラフ



国	男性 (Men)	女性 (Women)
日本 (Japan)	78	85
大韓民国 (Korea)	72	78
イタリア (Italy)	76	82
アメリカ (U.S.A.)	75	80
オーストラリア (Australia)	77	83

【2001年、厚生労働省統計資料より作成】

16.7 %

18.5 %

問2 下の3枚の絵の中から1枚を選び、次の [ ] の中の条件に従って、真由美さんとトム君の対話文を完成しなさい。

- ・書き出しの2文に続く対話文にする。
- ・ [ ] には、When, Where, Who, How のいずれかで始まる疑問文を書く。
- ・それぞれ4語以上の英文とする。

1

鯉のぼりの絵

2

琴(箏)の絵

3

団扇の絵

Tom : What do you have in your hand?

Mayumi: I have a picture of ( 1 the koinobori / 2 the koto / 3 the uchiwa ) .

Tom : \_\_\_\_\_ ? 36.6 %

Mayumi: \_\_\_\_\_ . 35.4 %



3 英語の授業は楽しいですか。

4 4 3 2 1  
 とても楽しい 楽しい あまり楽しくない 楽しくない

4 英語の授業がある前日、家で英語の勉強(予習・準備)をしますか。

4 3 2 1  
 必ずする たいていする あまりしない しない

5 英語の授業があった日、家で英語の勉強(復習・見直し)をしますか。

4 3 2 1  
 必ずする たいていする あまりしない しない

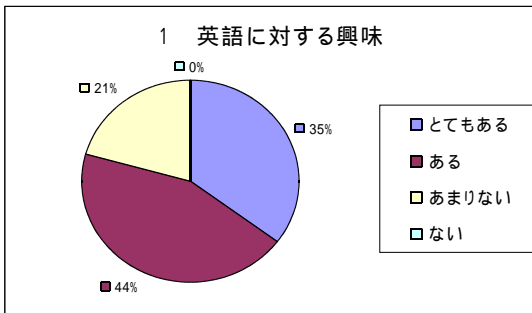
6 英語の授業のどういう活動が楽しいですか。(いくつ書いても構いません)

7 英語の授業で、どういう活動がもっとあったらいいと思いますか。( " )

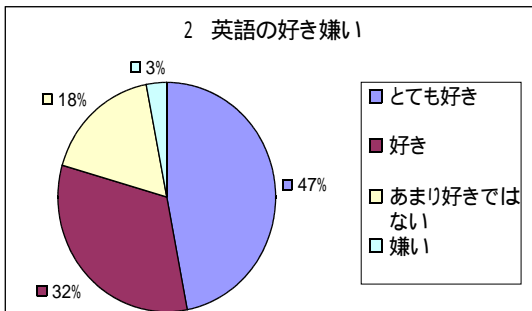
8 英語の学習でどういうところが難しいと思いますか。( " )

9 英語の学習を通して、どのようなことができるようになりたいですか。( " )

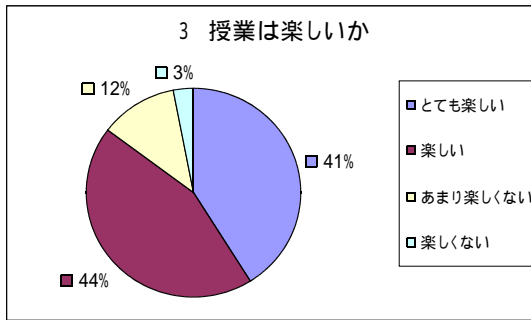
アンケート調査結果及び分析



「1 英語に対する興味」については、約80%の生徒が肯定的な回答をしている。  
 また、「ない」と回答した生徒はいない。

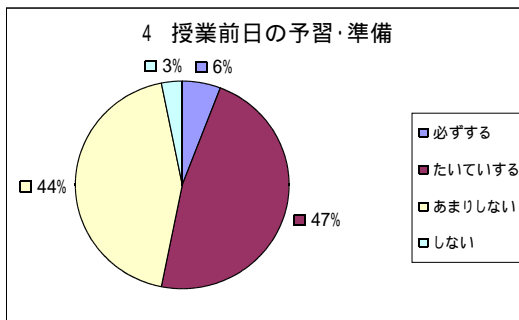


「2 英語の好き嫌い」の調査結果は、1の質問とほとんど同じ数値を示した。「興味(関心)」と「好き嫌い」の強い相関関係が分かる。

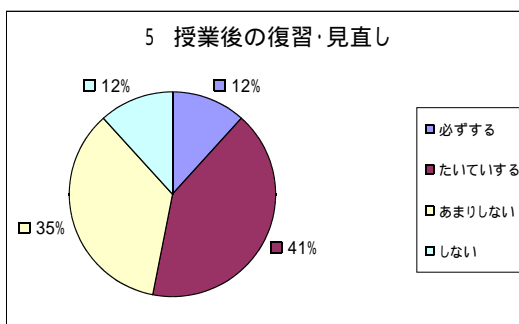


「3 授業は楽しいか」の質問項目では、85%の生徒が、肯定的回答をし、授業に積極的に参加していることが分かる。

この授業を楽しんで受ける姿勢が、1, 2の調査結果に結びついていると思われる。



「4 授業前日の予習・準備」は、約半数の生徒があらかじめ学習事項をチェックして授業に臨んでいることが分かる。



「5 授業後の復習・見直し」についても、「必ずする」、「たいていする」と回答した生徒は、3と全く同じ数値(53%)であった。

4と5の調査項目について、「必ずする」、「たいていする」と回答した生徒は全く同じ53%(15人)であるが、予習も復習も両方行うと回答した生徒は、20%(7人)であった。

「6 楽しい活動」、「7 やりたい活動」の調査では、7割の生徒がビンゴなどのゲームと答えている。

「8 英語の学習で難しいところ」の調査では、「単語」と回答した生徒が19名(56%)と最も多くなっている。また、「読み」、「発音」という回答もみられた。

「9 どのような力を身につけたいか」の調査では、「英会話」と答えた生徒が19名と最も多かった。また、他の回答としては、「実力(成績)アップ」、「基本習得」等もみられた。

この調査は、6月末に実施したものであり、研究協力学校第1学年の他の2学級でも同じアンケート調査を実施したが、ほぼ同じ傾向を示す調査結果であった。この結果から、英語を学び始めて3か月を経過した中学校第1学年1学期段階では、次の3点が特徴としてあげられると考える。

大部分の生徒が、英語に対して興味・関心があり、授業に積極的に参加している。

約半数の生徒が、英語の自宅学習を行っているが、予習と復習の両方に取り組む生徒は少ない。

身につけたい力は、英語で会話できることであるが、単語の習得に困難を感じている。

この生徒たちの関心と意欲を、いかに継続させ、育てていくかが大事である。そのためには、英語で話せるようになりたいという思いを大切にし、英語力を伸ばしていく指導方法の工夫・改善が必要である。残念ながら、前述の平成13年度中学校教育課程実施状況調査で実施したアンケート調査では、英語に対して興味・関心のある生徒の割合は、第2学年3学期段階では大きく下がってくるという結果が出ている。この傾向に歯止めをかけ、生徒たちの興味・関心を更に高めるためにも、分かる英語の授業実践を通して「実践的コミュニケーション能力」を育てて行かなくてはならない。そして、興味・関心、意欲を継続させるためには、基礎的・基本的な学習事項を知識としてしっかりと定着させることが不可欠である。

英語学習を始めたばかりの中学校第1学年段階では、生徒にとって難解な文法事項はまだ少ない。この段階の授業の工夫・改善のヒントは、「生徒たちが最も難しいと感じている単語習得をどのように図って行くか」である。その方策は、できるだけ英語を聞き、話す機会を数多く設定し、ペアワーク等を通じて、生徒自身が英語を実際に使用する場面を日々の授業展開に取り入れることであると考えられる。

(ア)、(イ)、(ウ)の分析から、次の3点を考慮しながら、「実践的コミュニケーション能力」育成のための基礎・基本の定着を図る英語科学習指導の在り方を構想していきたい。

基礎的・基本的な語いや語法の定着

授業で習得した単語や構文を使って英語で表現しようとする意欲・態度、技能の育成

英語の使用場面を重視した授業展開の工夫

#### イ 「実践的コミュニケーション能力」の育成を目指した指導の工夫・改善 (ワークシート、ペアワーク等の工夫を通して)

6月中旬に研究協力学校を訪れ、研究対象学級の授業を参観し、担当教諭の基本的な授業の流れを把握した。その授業展開に、生徒自身が英語を使ってコミュニケーションを図る場面を取り入れる学習指導案を作成し、7月にこの学習指導案に基づいた授業を実践してもらった。以下にその指導案を示し、その授業を検証するとともに、更に生徒の英語使用を意図したペアワークを取り入れる指導の工夫・改善を構想した。

単元及び本時の目標 「使用教科書：Sunshine（開隆堂）」

1	単元	Program 4 町に出かけよう 4 - 3
2	目標	2人(2つ)以上の人(もの)について言えるようになる。 複数形の理解 相手にしてほしいことなどを伝えられるようになる。 命令文の理解 相手に何をするかたずねたり, 答えたりできるようになる。 疑問詞 What を使った疑問文の理解 日本の町中の自動販売機 ( vending machine ) の多さについて考える。 多くの外国人が日本語を学んでいることに気づくことができる。
3	本時の目標	前時の学習事項 ( 命令文 , 新出語 ) の確認をし , 定着を図る。 疑問詞 What を使った疑問文を理解する。適切に表現できるまで定着するように , ペアワークを通して自分で表現しようと努める。 多くの外国人が日本語を学んでいることに気づくことができる。

学習課程

段階	時間	学習内容 学習活動	学習形態	指導上の留意事項	資料準備
復習	2 (分)	1. あいさつ Good morning (afternoon). How are you? - I'm --- .	一斉 ペア	・ 英語学習の雰囲気を作る T ⇄ S ; S1 ⇄ S2	
	5	2. 単語テスト 単語5問+ディクテーション1問	個人	・ 前時学んだ単語が定着しているかをチェックする	ハト`アクト(プリント)
	7	3. ゲーム 「Simon Says」で, 前時に学習した命令文を練習する Stand up. Sit down. Touch your ---. 等	一斉 グループ	・ まずゲームのやり方を説明し, 全員一緒に行う。 ・ 次に, 3 ~ 4人のグループを作り行う	
導入	4	4. 目標文を聞く What do you have in your pocket? What do you play(like)?	一斉	・ 最初はゆっくりと読み, 生徒が復唱しやすいように読み, 徐々に自然なスピードに近づける	
	5	5. 目標文の練習 What do you play? What do you have in ---?	一斉	・ 疑問詞 what の説明を行い, 語順の変化に気づかせる ・ Let's Listen を利用し定着を図る	
展開	3	6. 新出語句の提示 pocket, dictionary, study, every day, Let's --, talk, then	一斉	・ 意味を確認し, 何度も読む	フラッシュカード`CD プレ-ヤ-
	4	7. 本文を聞く		・ CDを聞かせる(2回)	
	8	8. 本文を読む 内容理解のチェック リサはポケットに何を持っていますか リサは毎日何をしますか マリオは何をしようと提案しましたか	一斉 ペア	・ 全員起立し教師について音読させる ・ 着席し内容を読みとりながら黙読させる ・ 何人が指名し, 答えを確認させる ・ 起立させ音読させる	
まとめ	5	9. 目標文の定着 I like ---. What do you like? I like ---.	ペア	・ Let's Try を利用し, Q&A を行わせる(最低3人の生徒と行わせる)	
	5	10. まとめ 本日の学習事項をノートにまとめる	個人	・ 使うことにより, 一層の定着を図る ・ ノートをチェックしながら, 机間指導を行う	
	1	11. 次時の予告			
	1	12. あいさつ			



(ア) 「復習」の段階について  
まず、前時の復習として  
重要単語と表現（命令文）  
の定着状況を確認するため  
右のハンドアウトを使って  
単語テストを実施した。6  
は、教師が英文を言い、そ  
れを書き取るディクテーシ  
ョン（Dictation）の形式を  
取った。生徒たちがこの形  
式のテストに慣れていない  
面もあり、少々とまどいもみられたが、熱心に取り組む姿が見られた。

単語テスト(4 - 2)

1 ( restaurant )                      2 ( sorry )

3 ( know )                                4 ( Japanese )

5 ( follow )

6 ( Don't walk so fast. )

Class(        ) No(        ) Name(                      )

既習の単語等のチェック方法には、記述形式だけでなく、列毎に立たせて早く答え  
た者から座らせていったり、フラッシュカードを利用し一人ずつ指名し答えさせたり  
する口答形式のものなど、様々な方法がある。授業開始時の単語等のチェックは、英  
単語を数多く見て、聞いて、発音して、書く機会を持たせるためにも有効な方法であ  
ろうと考える。

英語学習は、毎日、短時間でも英語に触れる方が効果的である。週3時間しか授業  
のない中学校の状況を考えれば、授業を中心として、授業での学習事項の復習（見直  
し、確認）と授業の予習（準備）を有機的に関連づけていくことが必要である。その  
ためにも、前時の学習事項を生徒たちにも確認させる手段として、自宅学習との関連  
を図った復習（見直し、確認）の時間を設け、指導方法を工夫していくことが大切で  
ある。

語い定着の1方策として、教師主導ではない、生徒同士のペアワークを取り入れた  
展開例を構想した。

【展開例】

年度当初に、学年に応じ、よく使う Classroom English の文例をまとめたハンドア  
ウトを配付し、ノートにはらせておく。

そのハンドアウトの中に、次の表現を入れておく。

How do you say \_\_\_\_\_ in English? --- We say " \_\_\_\_\_ " (in English).

What does ( the word ) \_\_\_\_\_ mean? --- \_\_\_\_\_ means " \_\_\_\_\_ ".

挨拶の後、次のような指示を与え、ペアワークを行わせる。

Now, let's check the words on page --- of the textbook.

Please make pairs. Ask your partner 5 questions about the words on page ---.

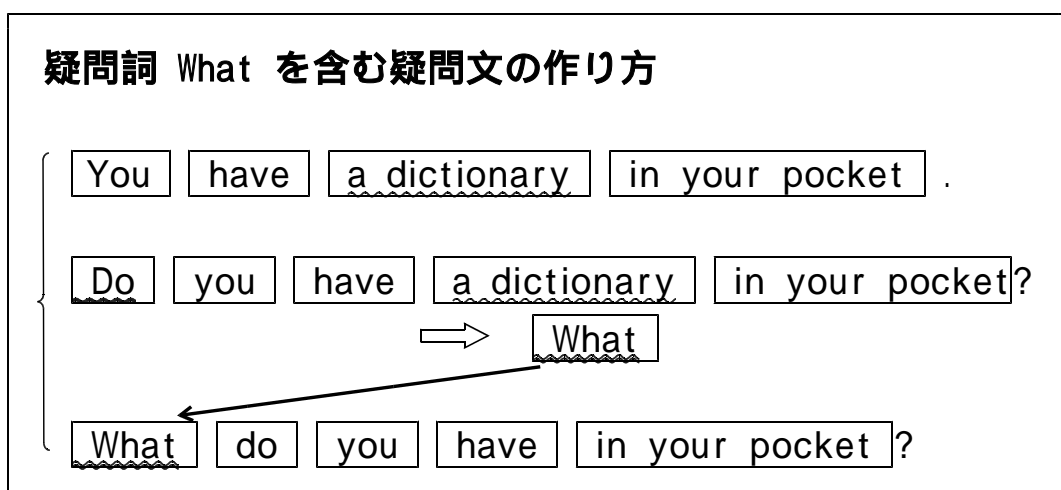
When you finish, change the parts ( roles ). OK, start the pair work.

Student A (教科書を見ながら)	Student B (教科書を閉じて)
How do you say 食堂 in English? That's right. (Good.) Next question. What does "follow" mean?  OK. "Follow" means "ついて行く". Next question.	( We say ) "restaurant."  I don't know. Please tell me the meaning. ( Tell me the answer.) I see. ( I got it.)
That's all. Let's change the parts.	OK. Close your textbook. How do you say _____ in English?

このペアワークを通して、生徒は英語を数多く聞き、発音する機会を得ることができる。また、教科書を見直すことで、単語だけでなく本文の内容も再確認できる。そして何よりも、英語を実際に使って、コミュニケーションを図ることを実感できる。

(イ) 「導入」の段階について

実際にはこの授業では、担当教諭が単元のはじめで目標とする文法事項（複数形、命令文、疑問詞 What を使った疑問文）をまとめて説明しており、目標文の説明が再確認の場となった。その説明に当たっては、以下に示す様に、カードを使い疑問文の成り立ち（作り方）を論理的に理解させるよう工夫した。



疑問詞 What を使った疑問文の成り立ちを理解させた上で、What do you play? や What do you like? へと理解を広げていく。そして CD を使い、教科書の Let's Listen を利用して理解を確認していく。しかし、理解しただけでは定着は望めない。更にどのような場面でこの表現が使えるのかを生徒に教え、授業の終盤で実際にペアワークを行うことによって、有用性を実感させる必要がある。今回の指導では、「まとめ」の段階における、教科書の Let's Try を利用した Q&A がそれに当たる。

(ウ) 「展開」の段階について

この授業における新出単語・重要単語は pocket, dictionary, study, every day, let's, talk, then であった。フラッシュカードを用いて単語練習を行ったが、スピード感をもって何度も聞かせ、数多く発音させ、意味を確認させていくことが必要である。新出語を、予習(準備)の段階で調べさせておき、授業で確認を行えば、この段階がスムーズに進み、更に自宅で行う復習の段階で教科書の音読を課せば、定着率も格段に上がる。

本文を聞く際の注意事項としては、英語教師、教科書 CD、そして機会があれば ALT の Model Reading 等の多様な発音、スピードに生徒たちの耳を慣れさせることも必要であろう。

音読をさせる段階では、教師や CD のあとについて何度も読んだ後、各自で読ませるわけであるが、この生徒だけの音読の段階でも、ペアワークやグループワークを活用する手立てが有効である。中学校で使用する教科書は、対話形式の英文が大部分を占める。その対話にかかわる人数によってペアやグループを編成し、分担を替えながら音読練習を行う。全員の前で一人で読むよりも生徒はリラックスし、また友達と協力して読むことにより、頑張ろうとする意欲も出てくる。この段階は、すべて立ったまま行い、終了した段階で着席する様な手立てを取れば、早く終わろうとスピード感も出てくる。

(I) 「まとめ」の段階について

今回の指導では、教科書の Let's Try を利用してのペアワークを実施したが、生徒たちがこの活動に慣れていなかったこともあり、スムーズに進んだとは言えなかった。何回もこの活動(ペアワーク)を繰り返し、授業展開の中に定着させることが大切である。以下に教科書の Let's Try と、生徒たちにとってペアワークが、もっと取り組みやすくなるであろうと構想したワークシートを示す。

【教科書のLet's Try】

Let's Try 例にならって、好きな食べ物やスポーツについて友達にたずね、その結果を表に記入しましょう。つづりがわからないときは、日本語で書いても構いません。

(例) あなた: I like apples / tennis.

What do you like?

友だち: I like orange / football.

友だちの名前	食べ物	スポーツ	その他

⇒ 食べ物の名前やスポーツ名は巻末付録 を参照しましょう

【ペアワーク用ワークシート】

次の手順で質問をし、下の表に記入しなさい。

少なくとも3人の友だちに質問すること。

1 相手に質問して良いかたずねなさい。

May I ask (you) a question?

2 相手の名前をたずねなさい。

Please tell me your name? / May I have your name? / What's your name?

3 自分の好きな食べ物を相手に教え、次に相手の好きな食べ物をたずねなさい。

I like ( ). What \_\_\_\_\_?

4 3と同じ手順で、好きなスポーツについてたずねなさい。

I like ( ). \_\_\_\_\_?

5 同じように、その他のもう1つのことについてたずねなさい。

I love ( ). \_\_\_\_\_?

友だちの名前	食べ物	スポーツ	その他

更に、表を利用する代わりに、次のような英文を提示し空欄を埋めさせることにより、相手をクラスに紹介するためのインタビュー活動へと発展させることができる。インタビュー後に、クラス全員に相手を紹介する場を設定すれば、より言語の使用目的が明確となり、生徒たちも積極的に取り組むことができると考える。

I will { tell you / talk } about Mr / Ms ( ).

Mr / Ms ( ) likes ( ) very much.

His / Her favorite sport is } ( ).  
He / She likes }

He / She likes ( ) too.

学習段階に合わせ、提示する英語表現は検討しておく。

このワークシートを利用し、何名か代表として発表させる。その後、自宅学習の課題としてノートに書いてくるように指示すれば、「書くこと」の指導の徹底にもつながる。

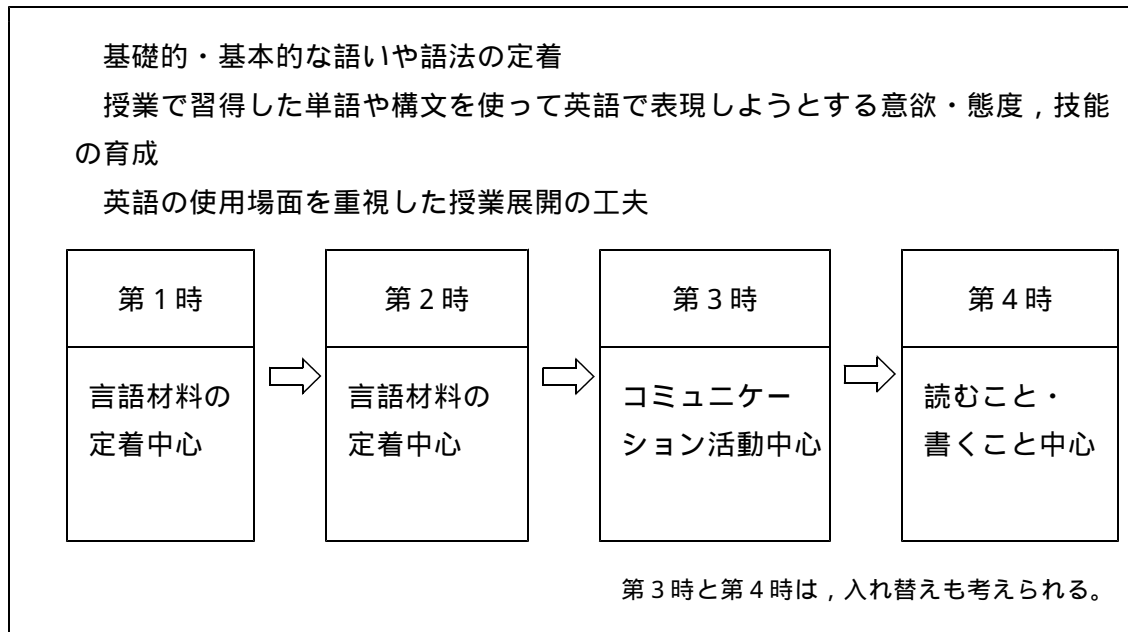
(3) 今後の指導の在り方に関する提言のまとめ

以上、1単位時間の検証授業を振り返り、ペアワークを中心としたコミュニケーション活動の工夫を述べてきた。指導要領の改訂により、学習すべき事項(単語、文法等)は精

選された。それは、指導事項を確実に生徒に定着させた上で、知識・理解にとどまらず、運用能力を身につけさせることを求めている。

今回の授業では、教科書に基づいたオーソドックスな授業展開の中での工夫・改善を構想してきたが、生徒の実態をふまえて、下のような授業の組み立ても考えることができる。

(1) で述べた次の3項目と関連づけて提示する。



学年、理解度、関心・意欲等の生徒の実態に合わせ、また、習熟度を含めた少人数授業との関連を勘案しながら、各学校で様々な取り組みがなされていくであろうが、生徒の興味・関心を持続させるためにも、基礎的・基本的な学習事項をしっかりと理解・定着させ、自分の考えを英語で表現しようとする意欲・態度、技能の育成を目指していく必要がある。

徹底した教材研究に基づき、教材の内容や生徒の実態にあった授業の展開を考え、授業の中にペアワーク等の言語使用の場面を数多く設定し、必要なワークシートを準備することが、生徒の表現力、そして「実践的コミュニケーション能力」を育成するために、英語教師に課された課題であると考えられる。

#### 参 考 文 献

- |                                    |          |
|------------------------------------|----------|
| 「中学校学習指導要領（平成10年12月） 解説 - 外国語編 - 」 | 文部省      |
| 「生きる力を育む学習指導 指導事例集（中学校編）」          | 宮崎県教育委員会 |
| 「SUNSHINE ENGLISH COURSE 1」        | 開隆堂      |